

## 海水浴場に関する海岸工学的研究 (14)

関西大学工学部 正員 ○島田 広昭

関西大学工学部 正員 井上 雅夫

## 1. ま え が き

著者らは、海水浴場として利用される人工海浜を建設する際の基礎資料を得る目的で、養浜によって新設された淡輪人工海水浴場において、1982年の開設以来、その自然条件および利用者の意識調査を行ってきた。本研究では、その近隣に同一の海岸環境整備事業によって海水浴場が開設された場合の利用形態や利用者意識などの変化について考察した。

## 2. 調 査 方 法

淡輪海水浴場は、1982年の開設当初は汀線延長が約400mであったが、1985年には汀線延長が約200m拡張され、現在の汀線延長は約600mである。1986年、その東北東約2kmのところに自然条件のよく似た汀線延長が約500mの箱作海水浴場が開設された。調査は、1986年8月6日(水)、9日(土)および10日(日)の合計3日間行った。意識調査は、直接面接法によるアンケートで利用密度がほぼ一定となる各調査日の12時半から15時半にかけて合計23項目について実施し、また、利用者分布の状況ならびに気象・海象条件の測定は10時から15時までの1時間ごとに行った。なお、海浜地形および底質の調査は9月9日(火)に行った。

## 3. 調査結果とその考察

図-1は、淡輪海水浴場における開設以来の利用状況を示したもので、縦軸は利用者数と晴天日数、横軸は各年である。この図から、1シーズンの総利用者数は開設から1985年までは著しく増加しており、26万8千人にも達していたが、1986年には約6万5千人も減少している。しかし、1986年の淡輪と箱作の総利用者数の合計は約40万人にも達しており、泉南海岸に海水浴へ来る人は、箱作海水浴場の開設に伴い激増し、利用者が両海水浴場に分散されていることがわかる。しかしながら、一日の最大利用者数については、年々着実に増加しており、1986年には約2万8千人にも達している。したがって、淡輪海水浴場から箱作海水浴場に分散した利用者は、地元の人が多い平日の利用者のようである。また、利用者分布および利用密度について、図示

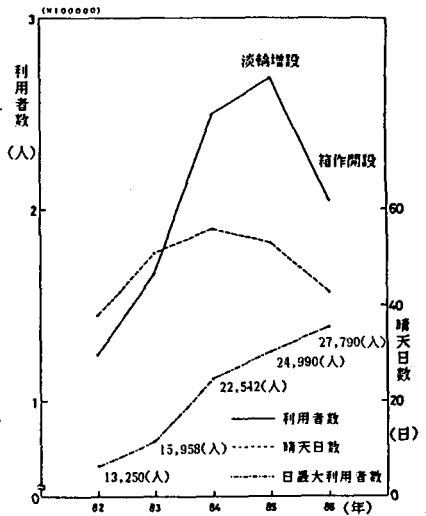


図-1 利用状況

はしていないが、1985年8月4日と1986年8月10日のいずれも日曜日の14時のものを比較してみると、調査当日の利用者数はそれぞれ24,990人と15,300人であり約40%、この時間における調査区域内の人数は3,624人と2,347人であり約35%がそれぞれ減少している。したがって、利用密度も $15.0\text{m}^2/\text{人}$ から $19.1\text{m}^2/\text{人}$ と緩和されかなり快適なものになっている。

Hiroaki SHIMADA, Masao INOUE

一方、混み具合に関する意識調査の結果を示した

図-2によると、(a)図

の日曜日については「す

いている」, 「ややすい

ている」と答えた人が、

海では5%, 砂浜では1%

増加しており、逆に(b)

図の平日については海で

は7%, 砂浜では10%減少

している。このことは、

調査当日の利用者数に対

応しているが、混雑が緩

和された影響は利用者の

意識にはあまり顕著に現

れていないようである。

これは、海水浴場全域を

対象とした利用密度はか

なり緩和されているが、

もっとも混み合う海水浴

場の出入口付近については1985年までと同様に、利用者が集中していることやある一定の利用者数を越えると混み具合に関する意識はほとんど変化がなくなるため、利用者はあまり混雑が緩和された感じを受けなかったものと思われる。図-3は、淡輪海水浴場を利用して総合的に満足しましたかと質問した結果である。これによると、「十分満足した」, 「満足した」と答えた人は、1985年に比べ日曜日が10%, 平日が17%とそれぞれかなり減少している。これについては、混み具合や砂浜の広さに対するものより水質や底質に対する不満によるものと思われる。

以上、近隣に箱作海水浴場が新設された場合の淡輪海水浴場における影響は、海水浴場の混雑は緩和され、かなり快適なものになっているが、利用者の意識にはあまり顕著に影響していないことが明らかになった。しかしながら、大阪府の当初計画のとおり淡輪・箱作間の総延長2kmが完成して、相互の海水浴場間の行き来が便利になると、それぞれの海水浴場における利用者の意識にも影響が現れてくるものと思われる。

最後に、この研究を行うにあたり、貴重な数多くの資料を提供して頂いた関係官庁の各位、現地調査や図面作成を熱心に助力してくれた、現在、南海建設 東利幸、豊中市役所 来治雅敏の両君ならびに当時関西大学海岸研の学生一同に深甚な謝意を表する。

a. すいている b. ややすいている c. 普通  
d. やや混んでいる e. 混んでいる

(%)

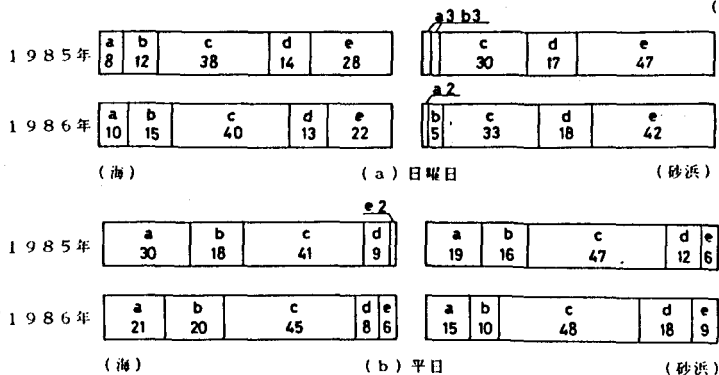


図-2 混み具合に関する利用者意識

a. 十分満足した b. 満足した c. こんなものである  
d. 不満 e. 大いに不満

(%)

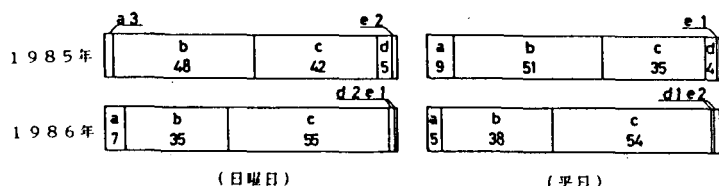


図-3 海水浴場の総合満足度